

平成 17 年 度

決 算 報 告 書

第 2 期

自 平成 17 年 4 月 1 日

至 平成 18 年 3 月 31 日

国立大学法人 名古屋大学

平成17年度 決算報告書

国立大学法人 名古屋大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入	89,623	107,768	18,145	
運営費交付金	36,692	36,692	0	
施設整備費補助金	2,208	2,357	149	(注1)
船舶建造費補助金	0	0	0	
施設整備資金貸付金償還時補助金	7,487	22,462	14,975	(注2)
補助金等収入	0	296	296	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	89	89	0	
自己収入	28,545	30,234	1,689	
授業料、入学金及び検定料収入	9,534	9,306	△228	(注4)
附属病院収入	18,697	20,350	1,653	(注5)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	314	578	264	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	5,843	6,892	1,049	(注7)
長期借入金収入	8,759	8,744	△15	(注8)
貸付回収金	0	0	0	
承継剰余金	0	2	2	(注9)
旧法人承継積立金	0	0	0	
目的積立金取崩	0	0	0	
計	89,623	107,768	18,145	
支出	89,623	105,363	15,740	
業務費	56,435	56,742	307	
教育研究経費	39,552	38,651	△901	(注10)
診療経費	16,883	18,091	1,208	(注11)
一般管理費	4,709	3,937	△772	(注12)
施設整備費	11,056	11,190	134	(注13)
船舶建造費	0	0	0	
補助金等	0	296	296	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	5,843	6,675	832	(注15)
貸付金	0	0	0	
長期借入金償還金	11,580	26,523	14,943	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	0	0	0	
計	89,623	105,363	15,740	
収入－支出	0	2,405	2,405	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、予算の段階では予定していなかった国からの施設整備費補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が149百万円多額となっております。
- (注2) 施設整備資金貸付金償還時補助金については、平成17年度補正予算により繰上げ償還を行ったため、予算額に比して決算額が14,975百万円多額となっております。
- (注3) 補助金等収入については、予算の段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して296百万円決算額が多額となっております。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、主として中途退学者等による学生在籍者の見込数の減や入学志願者の見込数の減により、予算額に比して決算額が228百万円少額となっております。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増等により、予算額に比して決算額が1,653百万円多額となっております。

- (注6) 雑収入については、著作権及び特許権に係る収入を予算段階では「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」に517百万円を計上しましたが、決算では雑収入に200百万円を計上したことや機器等使用料などの増収により、予算額に比して決算額が264百万円多額となっております。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び寄附金の受入れ増等による増収や(注6)に示した理由、著作権及び特許権に係る収入を雑収入に計上したことによる減などにより、予算額に比して決算額が1,049百万円多額となっております。
- (注8) 長期借入金収入については、入札結果に基づく契約確定額の減により、予算額に比して決算額が15百万円少額となっております。
- (注9) 承継剰余金については、予算の段階では予定していなかった国からの承継剰余金を使用したことにより、予算額に比して決算額が2百万円多額となっております。
- (注10) 教育研究経費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が901百万円少額となっております。
- (注11) 診療経費については、手術件数の増等による診療費用増により予算額に比して決算額が1,208百万円多額となっております。
- (注12) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が772百万円少額となっております。
- (注13) (注1)に示した理由により予算額に比して決算額が134百万円多額となっております。
- (注14) (注3)に示した理由により予算額に比して決算額が296百万円多額となっております。
- (注15) (注7)に示した理由により予算額に比して832百万円決算額が多額となっております。
- (注16) 長期借入金償還金については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が14,943百万円多額となっております。